

# 農業農村整備DX推進事業 (中山間地域の農業DXを加速化する基盤整備)

## 令和6年度の実施内容について

青森県農林水産部農村整備課農村環境整備グループ

# 1 事業の概要

## 農業農村整備DX推進事業費 (R6~R8)

### 事業の目指す姿 (アウトカム)

#### 現状 → 事業終了後の姿

- ▶ 中山間地域では農業者の高齢化や減少が平地よりも進行し、担い手不足が深刻
- ▶ 担い手不足の解消や生産性の向上を図るには、スマート農業導入は有効であり、スマート農業に対応した基盤整備が不可欠
- ▶ 農業農村整備事業の現場を支えるコンサル・建設業界においても担い手不足は深刻で、生産性向上の取組が急務
- ▶ 本県でも令和3年度からICT活用工事等を現場へ導入する取組を進めてきたが、依然としてICT活用施工の実績が少なく、業界への普及が進まない

#### 課題

農業農村整備のDXを推進するためには、

- ① 中山間地域における小規模ほ場でもスマート農業の導入が可能な基盤整備手法を確立する必要がある
- ② 農業農村整備プロセス (測量、設計、施工) におけるICT活用施工の有効性を検証する必要がある

### 目指す姿を実現するための取組 (アウトプット)

#### 【概要】

農業農村整備におけるDXを推進するため、中山間地域へのスマート農業導入を促進する基盤整備手法の確立と、農業農村整備プロセスにおいてICT活用の実践や有効性の検証を行い、その効果を広く普及させる。

#### 取組1 中山間地域の農業DXを加速化する基盤整備

- (1) 小規模ほ場に対応した基盤整備手法の検討
  - ① 【水田】 自動給水栓等の設置に配慮した用排水路等の整備
  - ② 【水田・樹園地】 自動草刈機の走行に適した畦畔・法面形状等
  - ③ 【水田】 自動走行農機を考慮した通路や進入路の整備
  - ④ 【水田・畑】 ドローンの効率的な活用が可能な農地整備
- (2) スマート農業に適した基盤整備の普及促進
- (3) 情報通信環境の整備支援

#### 取組2 農業農村整備プロセスのDX

- (1) 農業農村整備プロセス (測量、設計、施工) におけるICT活用効果等の検証  
ほ場整備のモデル地区において、①~④の実践や効果を検証
  - ① UAV (無人航空機) 等を用いた測量
  - ② 3次元設計データの作成
  - ③ 3次元モデルを活用した地元説明会
  - ④ ICT建設機械による施工



- (2) 農業農村整備プロセスで得られたデータの営農での活用検討
- (3) デジタル技術を活用できる人材の育成
- (4) 農業農村整備に関する技術情報等のデータベース化

## 2 令和6年度の実施内容

### (1) 検討会の開催

- ・ 中山間地域に対応したスマート農業技術の導入の検討を行うため、「青森県中山間地域農業DX検討会」を開催。

開催時期	開催形式	内容
令和6年6月25日	会議	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和6年度取組計画について</li><li>・ 実証試験について</li></ul>
令和7年2月12日	会議	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和6年度の実施内容について</li><li>・ 令和7年度の実施予定について</li></ul>

## 2 令和6年度の実施内容

### (2) 実証試験 【資料2】

① 自動給水栓等の設置

② 自動草刈機

③ スマート農機

④ ドローン

## 2 令和6年度の実施内容

### (3) 聞き取り調査【資料3】

- ・ 中山間地域における今後のスマート農業技術導入推進に向けた聞き取り調査を実施。
- ・ 黒石市、田子町、南部町の、農業農村整備を担当する部署に協力していただいた。
- ・ 令和5年度のアンケート調査の結果を参考に、中山間地域の農家に向けてスマート農業を勧めていくための課題や考えなどについて、行政としてのご意見をいただいた。

## 2 令和6年度の実施内容

### (4) 先進地視察【資料4】

- ・ 本県の中山間地域におけるスマート農業導入に適した整備基準検討の参考とするため、先進地視察を行った。

① 熊本県山都町（令和6年8月20日～22日）

② 新潟県津南町（令和6年10月15日～17日）